



令和2年2月12日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者 代表取締役会長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号 3782)
問合せ先 経営管理部長 小野寺 光広
電話番号 052-955-5720
(URL <http://www.dds.co.jp>)

販売管理費、営業外費用及び特別利益の発生並びに業績予想の修正に関するお知らせ

令和元年12月期通期(令和元1月1日～令和元年12月31日)において販売管理費、営業外費用及び特別利益を計上することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、当該販売管理費、営業外費用及び特別利益並びに最近の業績動向を踏まえ、平成31年2月8日に公表した令和元年12月期通期(平成31年1月1日～令和元年12月31日)の連結ならびに個別の業績予想を修正いたします。

1. 令和元年12月期通期業績予想の修正(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

[連結]

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,625	234	307	400	9円66銭
今回修正予想(B)	1,164	△164	△266	23	0円56銭
増減額(B-A)	△460	△398	△573	△376	
増減率(%)	△28.3	—	—	—	
前期実績 (平成30年12月期)	1,215	61	△83	△909	

[個別]

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,575	255	327	420	10円15銭

今回修正予想 (B)	1, 150	△149	△252	37	0 円 91 銭
増減額 (B-A)	△424	△404	△579	△382	
増減率 (%)	△26. 9	—	—	—	
前期実績 (平成 30 年 12 月期)	1, 210	80	△67	△893	

2. 業績予想の修正理由

・本業のバイオ事業及びマガタマ事業は堅調なもの、新規事業のアルゴリズム事業におきましてスマートフォンメーカー向けに当社の新アルゴリズムを供給するライセンスビジネスが、一次販売先の各センサーメーカーが 5G 対応・Under-OLED 対応で技術難易度が上がったことにより開発製品化が大幅に遅れました。令和元年 12 月に開発に成功しましたセンサーメーカーもありましたが受注には至らず、当期予定しておりましたライセンス売上が来期以降に持ち越しとなりました。

・令和元年 12 月期通期において、取引先への貸倒引当金繰入額 120 百万円を販売管理費に、子会社への貸付金及び取引先への売掛金に対して為替相場の変動により為替差損 32 百万円、取引先への貸付金に対する貸倒引当金繰入額 66 百万円を営業外費用に、また、保有投資有価証券の売却益 240 百万円、新株予約権の戻入益 60 百万円を特別利益に計上いたします。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも前回発表予想を下回るが見込まれるため令和元年 12 月期通期の業績予想を修正いたします。

また、連結業績予想の修正については、個別業績予想の修正の影響によるものであります。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。実際の業績等は様々な要因により上記数値と異なる場合があります。